

# 写真募集

社会の動向に鋭い視線を投げかけ、情熱を燃やす新進写真家へ！  
公益社団法人日本写真家協会が公募する

## 2022年 第17回「名取洋之助写真賞」

締切：2022年8月20日(土)消印有効  
持参の場合は8月19日(金)午後5時まで

応募資格：35歳まで(1987年1月1日以降生まれ)の方  
提出作品：六ツ切またはA4サイズの同一テーマの作品30点  
応募用紙はJPSホームページ <https://www.jps.gr.jp/> から

## 2021年 第16回名取洋之助写真賞受賞作品

2021年 第16回名取洋之助写真賞：  
川嶋 久人「失われたウイグル」



2021年 第16回名取洋之助写真賞奨励賞：  
喜屋武 真之介「母と、子」



# 写真募集

公益社団法人日本写真家協会は、“新進写真家の発掘と活動を奨励する”ために、35歳までの写真家を対象とした**2022年 第17回「名取洋之助写真賞」**の公募を行います。  
時代を捉える鋭い眼差しと豊かな感性による、斬新な作品を期待します。

## 【応募要項】

### ●応募資格

応募者は35歳まで（1987年1月1日以降生まれ）の方で、プロ、アマチュアは問いません。

### ●応募規定

- 1：発表、未発表を問いませんが、他のコンテストで受賞が決定または内定しているものは除きます。
- 2：フィルム、デジタルなど、いずれで撮影されたものでも構いません。ただし加工・合成処理したものは不可とします。  
※受賞作品は写真展用に大伸ばし（半切～全紙）にしますので、デジタルの場合は、撮影画素数にご留意ください。
- 3：提出作品は、六ツ切（8×10インチ）またはA4サイズの同一テーマの作品（プリント）30点。  
作品は額装、台紙貼り、製本、ファイリング等はいしなないでください。  
※必ず作品の順番が分かるよう、裏面に番号を明記してください。
- 4：応募作品に添付するもの、撮影者履歴、題名（タイトル）、撮影意図（800～1000字以内）を同封。
- 5：公序良俗に反しないもの、被写体の肖像権のほか管理、所有権等について問題が生じないもの。
- 6：受賞作品の原板等を提出していただきます。原板は使用後返却します。

### ●選考委員

山田健太(専修大学教授)、野町和嘉(写真家・日本写真家協会 会長)、清水哲朗(写真家・日本写真家協会 会員) (予定)

### ●賞金等

- 名取洋之助写真賞 1名 賞金 30万円、及び  
JPSが企画する写真集の制作(写真集の印税等は発生しません)
- 名取洋之助写真賞奨励賞 1名 賞金 10万円  
東京、大阪で受賞作品 写真展の開催予定

### ●著作権・使用権について

- 1：受賞作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 2：受賞後2年間、名取洋之助写真賞の広報・宣伝活動に優先して使用します。  
ただし、その後も協会のPR活動や歴史展、沿革史等に掲載させていただくことがあります。  
※データは上記目的以外には使用いたしません。

### ●応募期間と送付・提出先

- 1：応募期間 2022年7月1日(金)～8月20日(土) 消印有効。持参の場合は8月19日(金)午後5時まで。
- 2：送付・提出先 書留郵便または宅配便(送料は応募者負担)または持参。

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCIIビル303

公益社団法人日本写真家協会「名取洋之助写真賞」係

TEL: 03-3265-7451 FAX: 03-3265-7460 <https://www.jps.gr.jp/>

### ●作品の返却

- 1：応募作品は受賞作品発表後2カ月以内に返却します。
- 2：返却希望の方は、返却希望と朱書きしてください。受取人払いの宅配便にて返却します。梱包資材等は返却いたしませんのでご了承ください。※受賞作品の返却及び海外への返却はいたしません。

### ●応募票

応募票は日本写真家協会(JPS)のホームページからダウンロードするか、FAXにてご請求下さい。

<https://www.jps.gr.jp/> FAX:03-3265-7460

### ●名取洋之助(1910～62年)

ドイツに留学していた名取洋之助は23歳の若さで、1930年代ヨーロッパで勃興していたフォト・ルポルタージュをわが国に導入し、木村伊兵衛らと33年「日本工房」を興す。その後、土門拳、藤本四八、亀倉雄策らと『NIPPON』を創刊し、フォト・ジャーナリズムを確立する。戦後は47年に『週刊サン・ニュース』を創刊。50年に『岩波写真文庫』を創るなど、写真家であると同時にすぐれた企画、編集者でもありました。名取氏は、1950年の協会設立初期から写真企画展への助言。没後、名取洋之助関わった日本工房、サンニュース、岩波写真文庫の創設に関してわが国のフォトジャーナリズムの発展に大きく貢献されたことを顕彰し、主として若いフォトジャーナリストの育成に役立つことを望み、この写真賞を創設しました。

# 「名取洋之助写真賞」応募票（1）

提出作品に同封してください。 締切：2022年8月20日(土)

受付 No. \_\_\_\_\_

受付日 \_\_\_\_\_

|  |   |
|--|---|
| 題名   |   |
| フリガナ   | フリガナ                                    |
| 氏名   | ペンネーム                                   |
| 生年月日（西暦） 年 月 日生  | 出身地（都道府県）                               |
| 性別 男 女 （2022年8月20日現在 歳）  |   |
| 住所 〒 -   |   |
| 電話(自宅)   | 電話(携帯)                                  |
| FAX  | 電話(連絡先)                                 |
| E-mail アドレス  |   |
| ホームページ   |   |
| 履歴（最終学歴、職歴、現在、受賞歴）   |   |
| 提出枚数 モノクローム（ ）枚 カラー（ ）枚  |   |
| 既発表（発表媒体） <input type="checkbox"/> 未発表 <input type="checkbox"/><br>展覧会（題名・会場名・年月）<br>印刷媒体（出版物名・題名・年月）<br>放映、その他（テレビ、その他の媒体・題名・年月）  |   |
| 作品返却 <input type="checkbox"/> 希望する（宅配便・受取人払い利用）<br>返却先住所(上記と異なる場合) 〒 -   | <input type="checkbox"/> 希望しない（裁断廃棄します） |
| 返却先氏名  |   |
| *応募に際しての注意事項<br>1) 作品の裏面に <b>並び番号1～30番</b> を記入してください。<br>2) ファイルブック、アルバム等はできるだけ使わないで下さい。発送梱包のために使用する場合は1枚ずつ取り外せるものにして下さい。<br>3) 額装、台紙貼りはしないで下さい。<br>4) 記入いただいた個人情報は名取洋之助写真賞に関わる目的以外には使用いたしません。 |   |

